

## 2-5 AIMSプログラム

### DP との関係



### (1) AIMSプログラムについて

AIMS (Asian International Mobility for Students) プログラムとは、SEAMEO RIHED (東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター) が主導する国際共同教育推進プログラムであり、インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム、ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール、韓国および日本の9か国(2019年現在)が加盟しています。その目的は、政府奨学金の支給により、「ASEAN 共同体」の持続的発展に資する10分野(農学、工学、食糧科学技術、経済学、国際ビジネス、言語・文化、観光科学、環境管理科学、生物多様性、海洋学)の学生交流を促進し、国際的な視野をもった人材を育成することです。

アジアが「環境と調和した多文化共生社会の持続的発展」の道をたどるのかどうかは、世界の未来を左右する影響があり、その実現に貢献することは、私たちにとって重要な課題です。本プログラムでは、「ASEAN 発、環境に配慮した食料供給・技術革新・地域づくりを担う次世代人材養成」を目標として、ASEAN 地域の協定校に1学期留学します。さまざまな産業を取り巻く環境と地域社会の抱える問題に直接触れることで、持続可能な社会を実現するための自立的な問題解決能力を有するグローバル人材へと成長していくことを目指します。

### (2) 対象学部・対象年次

人文社会科学部、理学部、及び農学部の3年次生(以上)が対象となります。

【注意】以下の説明は、令和3年度の概要です。今後変更になる可能性があるため、皆さんを対象に開催される説明会に参加して、最新の情報を入手してください。また、このプログラムの詳細を知りたい学生は、グローバル教育センター又は各学部にお問い合わせください。

### (3) 留学先・募集人数・応募資格等

#### 1) 留学先

- インドネシア共和国
  - ・ボゴール農科大学(IPB) 農学部/農業工学部食料科学技術学科(農学・食品科学系)
  - ・ガジャ・マダ大学(UGM) 農学部(農学系)
  - ・スリウィジャヤ大学(UnSri) 農学部(農学系)
- マレーシア国
  - ・マレーシア科学大学(USM) 産業科学部(食品科学系)
- タイ王国
  - ・カセサート大学(KU) 農学部熱帯農学国際プログラム等(農学)
  - ・チェンマイ大学(CMU) 国際カレッジ(環境科学・人文社会科学系)
  - ・メーファールアン大学(MFU) 農産学部(食品科学・バイオサイエンス系)
- ブルネイ・ダルサラーム国
  - ・ブルネイ・ダルサラーム大学(UBD) 理学部等(環境科学・理工学・人文社会科学系)

#### 2) 開講科目

各大学で開講される科目については、派遣前年度の後期に通知される AIMS プログラム派遣学生募集要項を参照してください。

#### 3) 募集人数

8大学合計で15名程度(希望状況を考慮して各大学への派遣人数を調整します)

#### 4) 応募資格

学修意欲及び目的意識をしっかりと持ち、積極的に学業に臨み、留学先の学生や教職員等とも積極的にコミュニケーションをとることができる者で、下記要件を満たしている者。また、TOEIC、TOEFL- ITP または TOEFL- iBT を受験している者。

(参考：令和3年度の各学部の応募資格)

- ・農学部生：3年終了時に総単位数（卒業要件外科目を除く）が、食生命科学科の学生は100単位以上、地域総合農学科の学生は96単位以上修得見込みである者。必修科目や選択必修科目の単位数については、各コースの条件に従うこと。
- ・理学部生：3年次での派遣を希望する学生は、3年終了時に各コース（学際理学コースは各プログラム）の卒業研究履修条件単位以上を修得見込みである者。4年次での派遣を希望する学生は、4年次前学期までに通年・後学期開講科目を除き、卒業に必要な単位がすべて修得見込みである者。
- ・人文社会科学部生：TOEFL- ITP 550点または TOEFL- iBT80点以上を取得していることを推奨する。

#### 5) 選考基準

- ・書類審査：志望理由、英語力、学業成績を総合して判断します。
- ・面接：派遣学生に相応しい人物であるかを判断します。

※ 募集人数に満たない場合でも、選考基準により採用されない場合があります。

#### (4) 費用

- ・原則として渡航費用は自己負担となります（10～25万円程度）。渡航日程の調整や航空券の手配は大学がサポートします。
  - ・派遣先大学での授業料は徴収しません。
  - ・生活費用（食費、宿舎等）は自己負担となります（月3～6万円程度）。
  - ・留学前に予防接種や査証取得にかかる費用が必要となります（2～4万円程度）。
  - ・海外留学保険（学研災付帯海外留学保険）に加入して頂きます（4万円程度）。
- ※新型コロナウイルス感染症対策として特殊な滞在費用（隔離等）や医療関係費用（PCR検査やワクチン接種等）が必要となる可能性があります。

#### (5) 奨学金

- ・（独）日本学生支援機構の海外留学支援制度（短期派遣・5か月×7万円）に応募することができます（学業成績及び所得の基準あり）。
- ・応募者数が奨学金の割り当て人数を超える場合は、学業成績（GPA）によって受給者を決定します。
- ・その他の助成金（海外旅費支援金等）の利用可否については、別途通知します。
- ・奨学金を得られない場合に留学を取りやめる場合は、AIMSプログラム希望調査票に明記をお願いします。
- ・奨学金の初回振り込みは、渡航後に在籍確認をおこなってからとなります。

#### (6) 修了要件

- ・派遣先大学では、およそ9～15単位分の科目を履修します。ただし、推奨される単位数が個別に定められていたり、履修科目が指定されていたりする場合があります。
- ・修了要件を満たした学生には、SEAMEO-RIHEDで定めた「AIMSプログラム修了証」が各大学から与えられます。ただし、大学独自の修了証が発行される場合もあります。

## (7) 単位認定

- ・ 留学先で修得した単位は、申請により所属学部の審議を経たうえ、茨城大学における修得単位として認められます。  
※ 派遣中に履修科目情報を提供するほか、帰国後すぐに「単位認定願」を提出する必要があります。
- ・ 認定された科目の成績は GPA には算入されません。

## (8) 事前・事後教育

- ・ 派遣予定学生に対して事前教育を提供する場合は、可能な限り参加してください。
- ・ 帰国後、留学の効果測定にご協力いただく場合があります（学内で実施する TOEIC または TOEFL の受検等）。
- ・ 派遣学生は本学における広報活動（学内説明会及びオープンキャンパス等）において積極的に参加していただきます。

## (9) 注意事項

- ・ 派遣先大学で履修する講義は、原則としてすべて英語で行われます。
- ・ 派遣先大学の事情により、予定通り授業が開講されない場合があります。
- ・ 留学期間中は、休学とはなりませんので授業料の納付、授業料免除の申請、その他手続きを遅滞なく行うよう注意してください。
- ・ このほか、学部毎に様々な注意事項があります。詳細は、グローバル教育センター又は各学部にお問い合わせください。

以下は、同プログラムにおいて海外協定校から受け入れる留学生向けに本学で開講する全学共通科目です。AIMS プログラムに興味がある学生や、留学生とともに英語による授業を履修したい学生も履修することができます。（自由履修となるので注意してください。）

なお、年度ごとに開講時期等が決定されますので、各年度の「大学共通教育開講授業科目一覧」を参照してください。

## 参 考

### 全学共通科目

授業科目	区分	単位数
地域サステナビリティ学概論	講義	1
環境共生論	講義	2
環境保全型農業論	講義	2
環境変動適応・防災論	講義	2
地域環境管理論	講義	2
フィールド実践演習	演習	1
異文化交流	演習	1
地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ	講義	1
地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ	講義	1
地域サステナビリティ学ゼミナール	演習	1
地域サステナビリティ学ラボワーク	実験・実習	2